

低結晶性グレード投入

美浜 室温で液体、扱い容易

エラストマー用中間体

美浜（東京都港区、美濱修社長）は、インピスタ A&AT社が製造するポリエーテルグリコール共重合体の本格的な市場展開に乗り出した。高性能ポリウレタンやコポリエステル、その他ポリマーのソフトセグメントとして使用する高機能エラストマー用低結晶性中間体。室温で液体のためポリテトラメチレンエーテルグリコール（PTMEG）に比べてハンドリングが容易なうえ、最終製品の低温特性が向上するなどの特徴がある。分子量1400タイプのサンプル出荷を開始しており、来年春には分子量2000タイプも投入する方針。



室温で固体のPTMEG（右）に比べ液体の3MCPGは最終製品の低温特性も高められる

美浜はフッ素系冷媒ガス・空調フィルターおよびフッ素化学から派生した機能製品を主力とする化学品専門商社。機能製品はウレタン材料、フッ素樹脂、フッ素系溶剤、有機・無機化学品などを取り扱う。ウレタン材料ではインピスタ A&ATが「TERRATHAN E」（テラタン）のブランドで展開するPTMEG

の国内総販売代理店として実績を積み上げてきた。新たに販売を始めたのは「テラタン3MCPG」。インピスタ A&ATが社内使用していたものを初めて外販するもので、海外で先行販売している。国内では、11月から分子量1400グレードの1キログラムの出荷を開始。よりソフトな

2000グレードは2019年4〜6月を予定。PTMEGはゴルフボールカバーやバイ、ポリウレタン弾性繊維（スパインデックス）などに使われるポリマーのソフトセグメントとして機能する。ただ結晶性があるため、分子量が高くなる室温で固体となり、処理（使用前）前に製品容器を加熱する必要があった。

3MCPGは結晶性が低いことが特徴。室温で液体のため取り扱いが容易で、スプレーコーティングなどにも使用できる。また、PTMEGと同等の機械的特性、加水分解安定性を持ち、さらに低温での耐疲労性、動的特性にも優れる。

最終製品としての用途は、優れた低温性能が必須なスポーツ用品（スキーブーツなど）、高い動的特性を有し低温疲労に対して耐性が必要な寒冷地用皮革、等速ジョイント（CVJ）ブーツ、スプリング、ショックアブソーバー、光ファイバー用クリナーコーティングなどが有望。美浜は3MCPGを戦列に加えることによって新たな応用製品の開発が進む

ことも期待しており、20年にテラタン全体で10億円の上高を目指す。